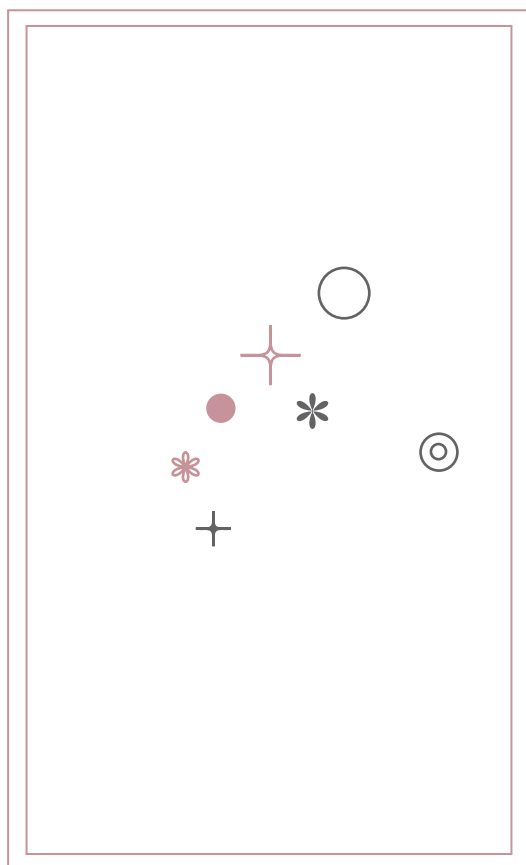


まちをはぐくむ、



くらしのやくわり。

講演会「まちを育む暮らしの役割」／高田 光雄氏（京都大学教授）
平成22年6月29日（火）15:30～16:30
学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28） 参加費：無料／定員：100名
主催：住まい・まちづくり活動推進協議会、一般社団法人住まい・まちづくり担い手支援機構

講演会「まちを育む暮らしの役割」

平成22年6月29日(火)15:30~16:30

学士会館・202号室(東京都千代田区神田錦町3-28) 参加費: 無料

主催: 住まい・まちづくり活動推進協議会 <http://www.aihc.jp>

一般社団法人住まい・まちづくり担い手支援機構 <http://www.s-m-ninaite-shien.jp>

市民主体の住まい・まちづくり活動は、ひとりひとりが市民として、生活者としてまちと関わることから始まります。

住まい・まちづくりは、そこに暮らす、関わる人々が日々の生活を自律的に営み、住まいやまちと関係をつくることから生まれてきます。

つまり、まちを豊かに育むためには、人々の「日々の暮らし」が最も重要なことではないでしょうか。

今回の講演会では、まちを豊かに育む「暮らし」に関するまちと人との関係のあり方について、京都大学教授・高田光雄氏に具体事例を交えながらお話いただきます。

「まちと住まい」、「公と私」、「多様性とネットワーク」といった、まちと人との関係のあり方に、“コモンズ”というキーワードを織りこみながらまちの日常を豊かに育む暮らし方や、それを支えるしくみについて考えます。

講演者: 高田 光雄氏 (京都大学大学院 工学研究科 教授)

1951年生まれ、博士(工学)、一級建築士。

日本建築学会理事、都市住宅学会副会長、京都府建築審査会会長、京都市住宅審議会会長、大阪府住宅まちづくり審議会会長職務代理、舞鶴市都市計画審議会会長、京都府建築士会副会長、上町台地からまちを考える会理事などを務める。地域の歴史や文化を活かした住まい・まちづくりの実践的研究、少子高齢社会に対応した住まい・まちづくりと都心居住空間のデザイン、スケルトン・インフィル方式の住宅ストック再生への適用、集合住宅団地の再生、シナリオ・アプローチによる住まい・まちづくり計画手法の開発などに取り組む。

○主な著書(含共著):『地域を活かすつながりのデザイン』(創元社/2009)、『体験!まちづくり学習』(学芸出版/2003)、『都心・まちなか・郊外の共生』(晃洋書房/2010)、『少子高齢社会の都市住宅学』(ミネルヴァ書房/2002)、『NEXT21:その設計スピリットと居住実験10年の全貌』(エクスナレッジ/2005)、『現代住宅研究の変遷と展望』(丸善/2009)、『日本における集合住宅計画の変遷』(日本放送出版協会/1998)。○主な計画作品:「泉北桃山台B団地」(堺市/1982)、「エステ南千里」(吹田市/1989)、「実験集合住宅NEXT21」(大阪市/1993)、「ふれっくすコート吉田」(東大阪市/1999)、「アーパネックス三条」(京都市/2002)。○主な受賞:日本建築学会賞(論文1996)、日本建築学会作品選奨(1996)、都市住宅学会賞(論文1998、論説2003/2005、著作2007)、日本不動産学会業績賞(2001)、日本計画行政学会計画賞(1995)、日本建築士会連合会賞(2001)、SB05 Best Paper Award(2005)など。

・お申込み: 本チラシをFAX 03-3586-3823、またはHPにて <http://www.aihc.jp>

※お申込み締切は、平成22年6月25日(金)ですが、定員(100名)に達し次第、締切とさせていただきます。

・お問合せ: 住まい・まちづくり活動推進協議会事務局(財)ハウジングアンドコミュニティ財団内(担当: 山田絵美)

E-mail: office@aihc.jp TEL.03-3586-4869

(ふりがな)
お名前

所属団体名(所属部署)

ご住所:〒

TEL:

FAX:

E-mail: